

《情報公開文書》

急性冠症候群での吸引血栓所見による発症機序の相違とその背景因子・予後の検討

研究の概要

【背景】

急性冠症候群は、急に冠動脈が血栓により閉塞する疾患です。その原因として、動脈の粥状硬化の破綻、動脈硬化のびらんや石灰化の3つがあるといわれています。さらに、石灰化も結節状の大きなものから、砂状の小さいものまで存在します。しかし、その原因の違いで、患者さんの背景およびその後の経過や予後が異なるか明らかではありません。

【目的】

急性冠症候群の患者さんの血栓吸引で採取された検体を病理学的に検討することで、従来いわれている3つの発症原因をについて評価し、石灰化についてはさらに結節状や砂状についても検討します。そして、これらの異なる発症原因となる患者さんの背景を明らかにします。また、その発症原因の違いで、患者さんの重症度、およびその後の経過や予後の相違について検討します。

【意義】

急性冠症候群の発症原因とその背景重症度、およびその後の経過や予後の相違について検討することで、それぞれの病態に応じた発症予防に、また、臨床経過および予後を明らかにすることで、予後改善の新たな治療につながる可能性があります。

【方法】

あなたの背景や、病気の重症度およびその後の病気の経過に関係があるかを調査します。調査の対象期間に行う検査は全て診療として行うもので、この研究のために追加して行う検査などはありません。

対象となる患者さん

- ① 2015/4/1～2024/3/31までに、急性冠症候群で当科に入院し、冠動脈インターベンションを受け、血栓吸引を施行された方
- ② 年齢は16歳から90歳
- ③ 性別：問いません

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

1. 患者背景：年齢、性別、合併症、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴、家族歴、内服薬、コロナ感染、コロナワクチン接種状況
2. 自覚所見：胸痛の有無

3. 血液生化学検査
 - 1) 血液学的検査
 - 2) 心電図
 - 3) 胸部 x p
 - 4) 心エコー図
 - 5) 心臓カテーテル検査
 - 6) 冠動脈血管超音波 (IVUS) : 冠動脈内腔の大きさ、動脈硬化の大きさと性状 (線維性、脂質、石灰化、エコー輝度減衰の有無)
 - 7) 光干渉断層法 (OCT) : 冠動脈内腔の大きさ、動脈硬化の大きさと性状 (線維性、脂質、石灰化、薄被膜線維性粥腫、微小血管、コレステロール結晶、プラーク破綻)
 - 8) 病理診断 : 吸引血栓の病理所見 (白色血栓、赤色血栓、粥腫、石灰化、巨細胞、コレステリン結晶、ネクロティックコア)
 - 9) ABI : 足関節上腕血圧比、脈波伝搬速度
 - 10) 重症度と臨床経過

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2024 年 9 月 5 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 循環器内科
 氏名：前村 浩二
 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
 電話：095 (819) 7288

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先**【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】**

長崎大学病院 循環器内科 河野浩章

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095(819)7288 FAX 095(819)7290

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200

受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）